

2017年(平成29年)11月1日

# 工業清環 遊佐町で圧送管洗浄

## アイスピグ 硫化水素濃度1/3に

アイスピグ東北地域協会の環清工業(青山武社長)はこのほど、山形県遊佐町の長距離圧送管で、流量および腐食環境の改善を目的にアイスピグ管内洗浄工法により洗浄作業を実施した。洗浄後に圧送管吐出口での硫化水素濃度が約3分の1に減少するなど、腐食環境の改善に効果を発揮した。なお、洗浄作業当日は現場見学会も行われ、同町はじめ周辺自治体職員や維持管理業者ら

約40人が視察に訪れ、同工法への理解を深めた。

洗浄対象の圧送管は、同町当山区のポリエチレン管(φ75×1200)だ。作業では、注入口から特殊アイスシャーパーット2・2tを圧送管内に注入、管内でピグの形成を確認した後、高圧水で押し流し管内を洗浄した。約20分後には、特殊アイスシャーパーットが回収口に到達。現場見学会参加者らは、回収口に設置された透明アクリル配管内に流入する灰色に変色した特殊アイスシャーパーットを目の当たりにし、同工法の洗浄効果を確認した。

洗浄前後で、上流側マンホールポンプの稼働時



洗浄効果を確認する参加者ら

間が約1割減少した。また、管内に堆積した汚泥等の有機物除去により、圧送管吐出口の硫化水素濃度(最大値平均濃度/1週間)は、洗浄前174ppmが、洗浄後69ppmと大幅な腐食環境

の改善が見られた。改正下水道法の施行による維持・修繕基準が創設され、圧送管吐出口をはじめ腐食の恐れのある排水施設の定期的な点検が義務付けられる中、アイスピグ研究会および各地域協会では、同工法により定期的な管内洗浄を行うことで、腐食環境の改善という根本的な対処が可能であるとPRを進めている。